

ウェザーニューズ、「第五回花粉飛散傾向」を12エリア毎にグラフで発表
 西～東日本はまもなくヒノキ花粉のピークへ！東北はスギ花粉のピーク
 ～3月中旬までの総飛散量を集計、特に九州で多く、昨年比10倍以上の観測も～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、3月中旬までの中間報告を含めた最新の花粉飛散傾向を発表しました。西日本ほど大量飛散が予想された今シーズンは、各地で昨年の同時期に比べて多くのスギ花粉を観測しています。特に九州で多く、3月中旬までに観測された飛散量は、少ない所でも昨年の2～3倍、多い所では10倍以上で、症状も昨年に比べて重く感じた方が多い傾向となりました。現在、西～東日本では、スギ花粉のピークは越えてきており、徐々にヒノキ花粉に移り変わってきています。4月に入ると春本番の暖かさとなる日が増え、ヒノキ花粉がピークを迎えます。スギ花粉も4月上旬までは多く飛ぶ可能性があるため、油断は禁物です。東北ではスギ花粉が飛散ピークを迎えており、4月中旬までは十分な対策が必要です。なお、1時間ごとの花粉飛散予想など最新の花粉情報は、スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」や、ウェブサイト「ウェザーニューズ」の『花粉 Ch.』からご覧いただけます。

本プレスリリースの素材のダウンロード	1時間ごとの花粉飛散予想など、最新の花粉情報	
ウェブ版プレスリリース 2017年「第五回花粉飛散傾向」 https://jp.weathernews.com/news/16037/	スマホアプリ 「ウェザーニューズタッチ」を ダウンロード後、 『花粉 Ch.』にアクセス	ウェブサイト「ウェザーニューズ」 「第五回花粉飛散傾向」 https://weathernews.jp/s/topics/201703/220035/

【スギ・ヒノキ花粉:3月中旬までの飛散状況と今後の飛散傾向】

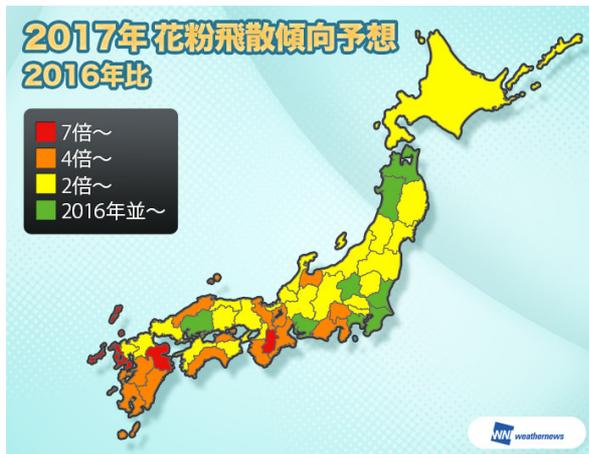
◆西～東日本ではスギ花粉はピーク越え、今後はヒノキ花粉に注意

現在、西～東日本では、スギ花粉のピークは越えて、徐々にヒノキ花粉に移り変わってきており、4月に入ると中旬にかけてヒノキ花粉がピークを迎えます。来週以降は西～東日本の広範囲で春本番の暖かさが続き、飛散量が増える恐れがあるため、注意が必要です。スギ花粉も4月上旬までは多く飛ぶ可能性があるため、油断は禁物です。また、東北ではスギ花粉が飛散ピークを迎えており、4月中旬までは十分な対策が必要です。

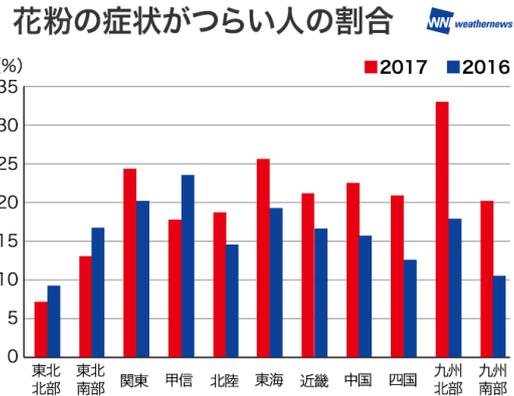
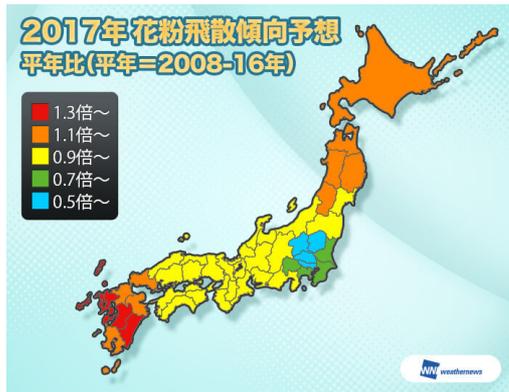
◆3月中旬までの飛散量:特に九州は多くの花粉を観測、昨年比10倍以上の所も

3月中旬(3月20日)までに観測された花粉飛散量は、九州～東北南部では、昨年の同時期に比べて多くなっています。特に九州では、少ない所でも昨年の2～3倍、多い所では10倍以上の花を観測しており、症状も昨年に比べて重い傾向が顕著です。また、今シーズンの飛散は、急激に飛散量が増えたのが特徴です。2月は寒さの影響を受けて飛散は控えめでしたが、関東や九州では2月終わりから、その他の西～東日本では3月に入って強風や昇温の影響で一気に増加しました。

一方で、東北北部では、花粉の飛散が昨年よりも遅れ、3



月中旬までの飛散量も昨年より少なく、半分程度の所もあります。このため、東北では昨年よりもまだ症状が軽い傾向ですが、シーズンを通した飛散量は平年並で、昨年より多い予想なので、油断は禁物です。



※右の症状のグラフは、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」の『花粉 Ch.』に2017年1月19日～3月22日までに花粉症のユーザーから寄せられた症状報告(のべ 78,860 通)のうち、“非常に辛い”“辛い”の回答を合計し、割合で表示しものです。

◆今後の飛散予想：九州と北日本でやや多い～多い予想

スギ・ヒノキ花粉を合わせた飛散量は、今シーズンを通して各地で昨年より多くなる見通しで、多い所では昨年の10倍近くなる所(大分県)もありそうです。平年に比べ、九州、東北北部、北海道ではやや多い～多い飛散を予想しており、九州では平年の1.8倍(長崎県)の飛散となる恐れもあるため、引き続き万全な対策が必要です。

なお、花粉シーズンの終了時期は、九州では4月下旬、その他の多くの地域では5月上旬になる予想です。

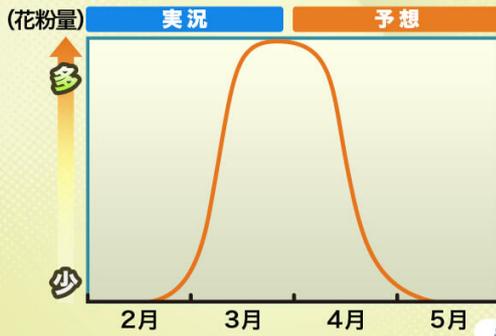
◆各エリアの見解(3月30日時点)

<p>花粉の飛散ピーク 2017 北海道</p> <p>シラカバ</p> <p>(花粉量) 予想</p> <p>4月 5月 6月</p>	<p>北海道：4月下旬から飛散開始</p> <p><飛散時期>4月下旬になると寒さが緩み、道南や道央エリアからシラカバ花粉が飛び始めそうです。4月の北海道は気温が平年より高い予想のため、花粉シーズンイン直後に本格的な花粉シーズンに入る可能性があります。ピークは、道南や道央ではゴールデンウィークの頃、道北や道東では5月中旬で、6月に入ると段々と飛散量は少なくなる見込みです。ただ、気温次第では飛散開始やピークが早まる可能性もあるので、早めの対策がおすすめです。</p> <p><飛散量> 昨年の夏の天候や飛散量の傾向から、シラカバ花粉飛散量は平年の1.28倍、2016年の2.57倍となる予想です。</p>
<p>花粉の飛散ピーク 2017 東北北部</p> <p>スギ</p> <p>(花粉量) 実況 予想</p> <p>2月 3月 4月 5月</p>	<p>東北北部：飛散ピークは4月中旬まで</p> <p><飛散時期>3月上旬までは寒気の影響を強く受けて、花粉が飛びにくい状態でした。東北北部の早い所でも花粉シーズンに入ったのは3月初めで、広範囲で花粉シーズンに入ったのは3月中旬でした。本格的に花粉が飛び始めたのは3月20日前後で、花粉シーズンイン・本格シーズンインともに昨年より遅れています。スギ花粉のピークは、4月上旬～中旬の予想で、暖かくなると一気に飛散量が増える恐れがあり、注意が必要です。</p> <p><飛散量>3月中旬までの飛散量は、本格的な飛散開始が遅れたため、青森県、秋田県では昨年の半分程度となっています。ただ、今後は飛散量が増えて昨年の2～3倍、平年の1.3倍の飛散量の所がある見込みで、油断はできません。</p>

花粉の飛散ピーク 2017

東北南部

スギ



東北南部：4月上旬までピーク続く

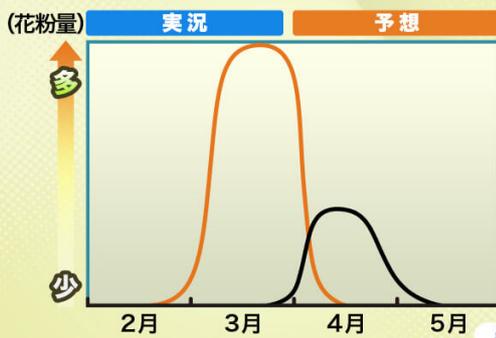
＜飛散時期＞2月前半は寒気の影響を強く受けて、花粉は飛散しにくい状況でしたが、2月後半になると寒さが緩んで、花粉シーズンに入りました。3月前半は暖かくなったのは一時的でしたが、3月後半になると春の気配を感じられる日が増えてきて、現在はスギ花粉のピークを迎えています。今後も、4月上旬まではスギ花粉のピークが続くため、引き続き対策が必須です。

＜飛散量＞3月中旬までの飛散量は、昨年比べて多く、2倍程度を観測しています。花粉シーズンは折り返し地点にありますが、4月上旬までは大量飛散の恐れがあります。シーズン通しては昨年の2～3倍になる予想です。平年並ではあるものの、引き続き油断ができない状態が続きます。

花粉の飛散ピーク 2017

北陸・甲信北部

スギ ヒノキ



北陸・甲信北部：スギ花粉は4月上旬まで注意

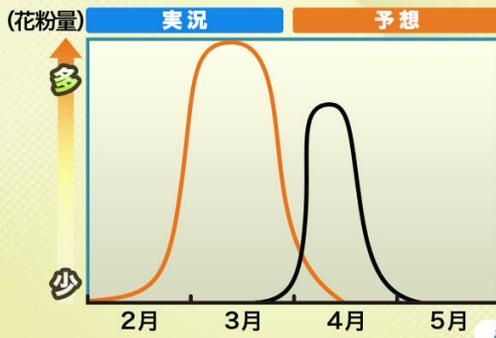
＜飛散時期＞2月後半になると寒さが緩み、春の気配を感じる暖かい日が出てきて、2月下旬に各地で花粉シーズンに入りました。寒暖を繰り返しつつ、3月に入ると気温が上がったタイミングで各地でスギ花粉の飛散が本格化しました。3月中旬にはポカポカ陽気になったことで非常に多くの花粉が飛び、飛散のピークを迎えました。

現在は最大のピークを越えつつありますが、4月上旬まではスギ花粉が多く飛ぶ恐れがあり、引き続き油断はできません。また、4月になるとヒノキ花粉が増え始める予想です。北陸はもともとヒノキ花粉の飛散量は少ないエリアですが、4月中旬をピークに飛散するため、敏感な方は対策が必要です。＜飛散量＞3月中旬までの飛散量は、昨年比べて多く、少ない所でも昨年と同程度～2倍、多い所では4倍を観測しており、症状は昨年より重い傾向です。スギ・ヒノキ花粉を合わせて、今シーズンは平年並の飛散量となる予想ですが、昨年比では2～4倍の花粉が予想されるため、引き続き注意が必要です。

花粉の飛散ピーク 2017

関東

スギ ヒノキ



関東：ヒノキ花粉がまもなくピーク

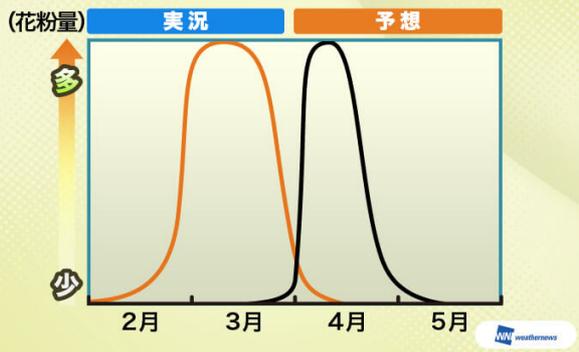
＜飛散時期＞1月終わりに寒さが緩み一時的に春本番の暖かさが到来し、南部では全国に先駆けてスギ花粉のシーズンに入りました。ただ、その後は寒気の影響を受けて、本格的な花粉シーズンに入ったのは2月中頃になりました。それ以降は春の気配を感じる暖かさの日が周期的に訪れ、2月終わり頃から急に花粉の飛散量が増加しました。多くの花粉が飛び3月上旬にスギ花粉の最大のピークを迎えました。すでにスギ花粉のピークは越えています、ヒノキ花粉が飛び始めています。

今後、4月上旬になると春本番の陽気となって一気にヒノキ花粉が増える恐れがあり、4月中頃にかけてピークを迎える予想です。

＜飛散量＞3月中旬までの飛散量は、昨年比べて多く、少ない所でも昨年の2倍前後、多い所では4倍程度を観測しており、症状は昨年より重い傾向です。今後はヒノキ花粉の飛散量が増えて、スギ・ヒノキ花粉を合わせると少ない所でも昨年と同程度、多い所では昨年の2倍以上の花粉が飛散する予想です。平年より少ない飛散量となる見通しですが、昨年より多くの花粉が予想されるため、引き続き注意が必要です。

花粉の飛散ピーク 2017 東海・甲信南部

スギ — ヒノキ —



東海・甲信南部：多い所で昨年比 9 倍を観測

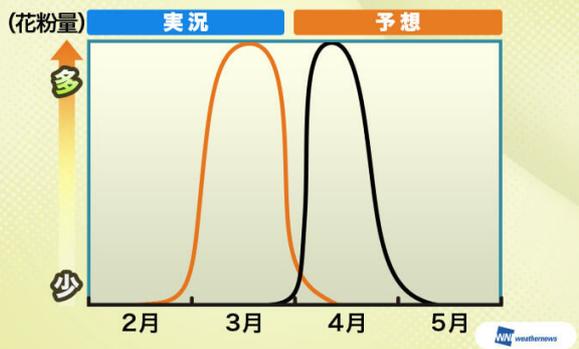
＜飛散時期＞1 月終わりに寒さが緩み、特に気温が上がった静岡県では 2 月初めにいち早く花粉シーズンに入りました。ただ、その後は再び強い寒気の影響を受けて、他のエリアでスギ花粉のシーズンに入ったのは、2 月後半になってからでした。3 月に入ると春を感じる暖かさの日が増えて、広範囲で飛散量が一気に増え、静岡県では 3 月上旬～中旬に、その他のエリアでは 3 月中旬～下旬にスギ花粉のピークを迎えました。すでにスギ花粉のピークは越えつつありますが、代わって静岡県や三重県などではヒノキ花粉が飛び始めています。

今後、4 月上旬になると春本番の陽気となって、一気にヒノキ花粉が増える恐れがあり、4 月中頃にかけてピークを迎える予想です。

＜飛散量＞3 月中旬までの飛散量は、昨年に比べて多く、少ない所でも昨年の 2 倍前後、多い所では 9 倍を観測しており、症状は昨年より重い傾向です。今後はヒノキ花粉の飛散量が増えて、スギ・ヒノキ花粉を合わせると少ない所でも昨年の 1.5 倍、多い所では昨年の 5 倍前後の花粉が飛散する予想です。平年並の飛散量となる予想ですが、昨年よりも多くなるため引き続き注意が必要です。

花粉の飛散ピーク 2017 近畿

スギ — ヒノキ —



近畿：多い所で昨年比 8 倍以上を予想

＜飛散時期＞2 月中頃までは寒さの影響で花粉が飛散しにくい状況でしたが、その後は寒さが緩んで 2 月中旬のうちに広範囲でスギ花粉のシーズンに入りました。春一番が吹くなど、気温が上がって強い風が吹いたこともきっかけとなったようです。3 月に入ると一気に飛散量が増え、3 月中旬～下旬をピークに多くの花粉が飛散しました。寒さの影響で昨年よりもピークは遅れましたが、すでにスギ花粉のピークは越えており、わずかながらヒノキ花粉が飛び始めています。

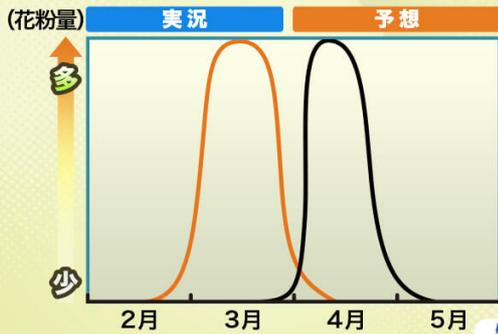
今後、4 月上旬になると春本番の陽気となって、一気にヒノキ花粉が増える恐れがあり、4 月中頃にかけてピークを迎える予想です。

＜飛散量＞3 月中旬までの飛散量は、昨年に比べて多く、少ない所でも昨年の 3～4 倍、多い所では 6 倍を観測しており、症状は昨年より重い傾向にあります。今後はヒノキ花粉の飛散量が増えて、スギ・ヒノキ花粉を合わせると少ない所でも昨年の約 3 倍、多い所(奈良県)では昨年の 8.5 倍の花粉が飛散する予想です。2015～2016 年は飛散量が比較的少ない年が続き、平年並の飛散量となるのが 3 年ぶりの県もあるだけに、引き続き注意が必要です。

花粉の飛散ピーク 2017

山陽

スギ — ヒノキ —



山陽：4月中旬にかけてヒノキ花粉がピーク

＜飛散時期＞2月中旬までは寒さの影響で花粉が飛散しにくい状況でしたが、その後は寒さが緩んで2月中旬までに広範囲でスギ花粉のシーズンに入りました。3月に入ると一気にスギ花粉の飛散量が増えて、3月中旬をピークに多くの花粉が飛散しました。最大のピークは昨年よりもやや遅れましたが、すでにスギ花粉のピークは越えており、ヒノキ花粉が飛び始めています。

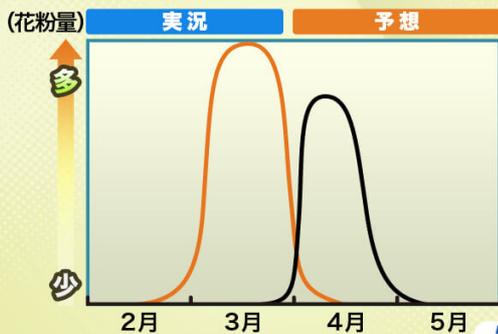
今後、4月上旬にかけて春本番の陽気となると、一気にヒノキ花粉が増える恐れがあり、4月中旬にかけてピークを迎える予想です。

＜飛散量＞3月中旬までの飛散量は昨年に比べて多く、昨年の2～3倍を観測しており、症状は昨年より重い傾向にあります。今後はヒノキ花粉の飛散量が増えて、スギ・ヒノキ花粉を合わせて昨年の2倍前後の花粉が飛散する予想です。平年並の飛散量となる予想ですが、昨年より多く花粉が飛ぶ恐れがあるため、注意が必要です。

花粉の飛散ピーク 2017

山陰

スギ — ヒノキ —



山陰：4月中旬にかけてヒノキ花粉がピーク

＜飛散時期＞2月中旬までは寒さの影響で花粉が飛散しにくい状況でしたが、寒さが緩んだ2月20日前後にはスギ花粉のシーズンに入りました。3月に入ると一気にスギ花粉の飛散量が増えて、3月中旬をピークに多くの花粉が飛散しました。寒さの影響を受けて最大のピークは昨年よりも遅れましたが、すでにスギ花粉のピークは越えてきており、ヒノキ花粉が飛び始めています。

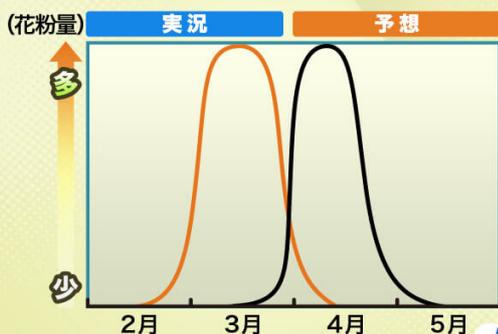
今後、4月上旬にかけて春本番の陽気となると、一気にヒノキ花粉が増える恐れがあり、4月中旬にかけてピークを迎える予想です。

＜飛散量＞3月中旬までの飛散量は、昨年に比べて多く、昨年の3～4倍を観測しており、症状は昨年より重い傾向です。今後はヒノキ花粉の飛散量が増えて、スギ・ヒノキ花粉を合わせて昨年の3～4倍の花粉が飛散する予想です。2014～2016年は飛散量が比較的少ない年が続く、平年並の飛散量となるのは4年ぶりとなるだけに、症状の悪化に引き続き注意が必要です。

花粉の飛散ピーク 2017

四国

スギ — ヒノキ —



四国：多い所で昨年比7倍の花粉を観測

＜飛散時期＞2月中旬までは寒さの影響で花粉が飛散しにくい状況でしたが、その後は寒さが緩んで2月中旬までに広範囲でスギ花粉のシーズンに入りました。春一番が吹くなど、気温が上がって強い風が吹いたことがきっかけとなったようです。3月に入ると一気に飛散量が増えて、3月中旬をピークに多くの花粉が飛散しました。昨年よりも最大のピークはやや遅れましたが、すでにスギ花粉のピークは越えており、ヒノキ花粉が飛び始めています。

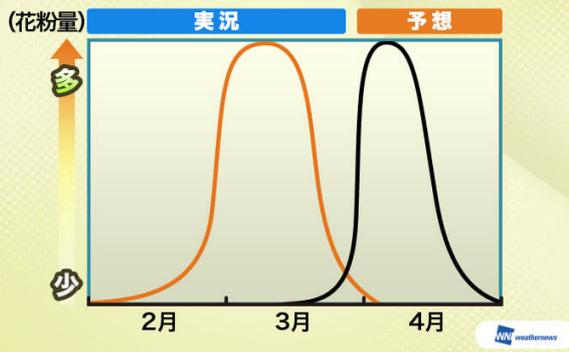
今後、4月上旬にかけて春本番の陽気となると、一気にヒノキ花粉が増える恐れがあり、4月中旬にかけてピークを迎える予想です。

＜飛散量＞3月中旬までの飛散量は、昨年に比べて多く、少ない所でも昨年の3～4倍、多い所では7倍を観測しており、多くの方が昨年より症状が強く出ています。今後はヒノキ花粉の飛散量が増えて、スギ・ヒノキ花粉を合わせて昨年の3～4倍の花粉が飛散する予想です。2015～2016年は飛散量が比較的少ない年が続く、平年並の飛散量となるのは3年ぶりとなるだけに、引き続き注意が必要です。

花粉の飛散ピーク 2017

九州北部

スギ — ヒノキ —



九州北部・山口県：多い所で昨年比 10 倍超

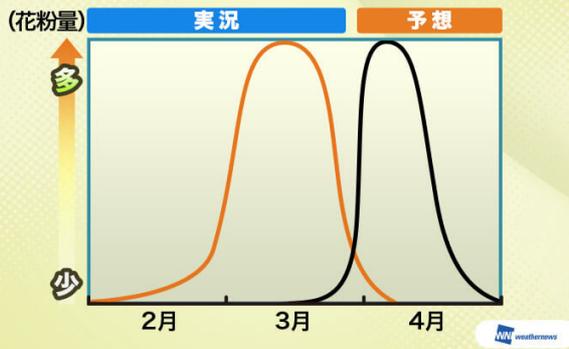
＜飛散時期＞1 月終わり～2 月上旬に飛散開始となった所もありましたが、寒さの影響ですぐには本格的なシーズンに入らず、広範囲で本格的なシーズンに入ったのは 2 月中旬でした。春一番が吹くなど、気温が上がって強い風が吹いたことがきっかけとなったようです。スギ花粉のピークは 2 月終わり～3 月中旬で、昨年よりも飛散量が多いことから、ピーク時期が長くなりました。すでにスギ花粉のピークは越えており、ヒノキ花粉が飛び始めています。3 月終わり頃からは気温が上がり、一気にヒノキ花粉が増える恐れがあり、4 月中頃にかけてピークを迎える予想です。

＜飛散量＞3 月中旬までの飛散量は、昨年比べて多く、少ない所でも昨年の 2～3 倍、多い所では 10 倍以上を観測しており、多くの方が昨年より症状が強く出ています。今後はヒノキ花粉の飛散量が増えて、スギ・ヒノキ花粉を合わせて昨年の 2～10 倍、平年の 1～2 倍の花粉が飛散する予想です。2015～2016 年は飛散量が比較的少ない年が続いていただけに、引き続き注意が必要です。

花粉の飛散ピーク 2017

九州南部

スギ — ヒノキ —



九州南部：昨年比 4～6 倍の飛散予想

＜飛散時期＞2 月上旬に飛散開始となった所もありましたが、寒さの影響ですぐには本格的なシーズンに入らず、広範囲で本格的なシーズンに入ったのは 2 月中旬でした。春一番が吹くなど、気温が上がって強い風が吹いたことがきっかけとなりました。スギ花粉のピークは 3 月上旬～中旬で、昨年よりも飛散量が多いことから、ピーク時期が長くなりました。すでにスギ花粉のピークは越えており、ヒノキ花粉が飛び始めています。3 月終わり頃からは気温が上がり、一気にヒノキ花粉が増える恐れがあり、4 月中頃にかけてピークを迎える予想です。

＜飛散量＞3 月中旬までの飛散量は、昨年比べて非常に多く、昨年の 4～5 倍を観測しており、多くの方が昨年より症状が強く出ています。今後はヒノキ花粉の飛散量が増えて、スギ・ヒノキ花粉を合わせて昨年の 4～6 倍の花粉が飛散する予想です。平年比では 1.1～1.3 倍ですが、2015～2016 年は飛散量が比較的少ない年が続いていただけに、引き続き注意が必要です。

＜備考：都道府県別の花粉飛散時期／飛散量＞

※花粉シーズン開始日/終了日：

敏感な人に症状が始める花粉飛散数 10 個/日を超える花粉飛散を 2 日以上観測した日/観測しなくなった日

※本格花粉シーズン開始日/終了日：

花粉症の症状が始める花粉飛散数 30 個/日を超える花粉飛散を観測した日/観測しなくなった日

※飛散数：花粉観測機「ポールンロボ」が観測する花粉数で、都道府県内の平均を示す。北海道はシラカバ花粉の花粉数。

※沖縄県はスギ・ヒノキ花粉が特にないため除外

※平年は 2008～2016 年の平均

◆都道府県別の花粉飛散時期

都道府県	花粉シーズン		本格花粉シーズン		本格花粉シーズン		花粉シーズン	
	開始日		開始日		終了日		終了日	
	今シーズン	昨シーズン	今シーズン	昨シーズン	今シーズン (予想)	昨シーズン	今シーズン (予想)	昨シーズン
北海道 (シラカバ)	4月下旬	4月21日	4月下旬	5月2日	6月上旬	5月25日	6月中旬	6月5日
青森県	3月13日	3月8日	3月20日	3月15日	5月上旬	5月2日	5月中旬	5月8日
秋田県	3月13日	3月8日	3月22日	3月17日	5月上旬	5月2日	5月中旬	5月8日
岩手県	3月4日	3月5日	3月17日	3月8日	4月下旬	5月2日	5月上旬	5月8日
宮城県	2月16日	2月29日	3月1日	3月8日	4月下旬	4月26日	5月上旬	5月3日
山形県	2月27日	3月4日	3月4日	3月8日	4月下旬	4月26日	5月上旬	5月3日
福島県	2月16日	2月21日	3月1日	3月6日	4月下旬	4月26日	5月上旬	5月2日
茨城県	1月30日	2月10日	2月16日	2月17日	4月下旬	4月26日	5月上旬	5月5日
栃木県	2月6日	2月10日	2月16日	2月21日	4月下旬	4月26日	5月上旬	5月5日
群馬県	2月6日	2月10日	2月16日	2月17日	4月下旬	4月26日	5月上旬	5月5日
埼玉県	1月31日	2月10日	2月16日	2月24日	4月下旬	4月26日	5月上旬	5月5日
東京都	1月30日	2月10日	2月16日	2月24日	4月下旬	4月26日	5月上旬	5月5日
千葉県	1月30日	2月10日	2月16日	2月21日	4月下旬	4月26日	5月上旬	5月5日
神奈川県	1月30日	2月9日	2月16日	2月21日	4月下旬	4月26日	5月上旬	5月5日
山梨県	2月16日	2月21日	2月21日	2月29日	4月下旬	4月30日	5月上旬	5月5日
長野県	2月24日	2月27日	2月28日	3月5日	4月下旬	5月3日	5月上旬	5月9日
新潟県	2月24日	3月4日	3月2日	3月6日	4月下旬	4月26日	5月上旬	5月3日
富山県	2月23日	2月28日	3月1日	3月6日	4月下旬	4月26日	5月上旬	5月3日
石川県	2月23日	2月27日	3月1日	2月28日	4月下旬	4月26日	5月上旬	5月5日
福井県	2月23日	2月27日	3月1日	2月28日	4月下旬	4月26日	5月上旬	4月30日
静岡県	2月3日	2月15日	2月16日	2月21日	4月下旬	4月25日	5月上旬	5月5日
愛知県	2月16日	2月17日	3月3日	2月24日	4月下旬	4月24日	5月上旬	5月5日
岐阜県	2月21日	2月21日	3月3日	2月28日	4月下旬	5月3日	5月上旬	5月8日
三重県	2月17日	2月21日	2月24日	2月26日	4月下旬	4月24日	5月上旬	4月30日
滋賀県	2月20日	2月26日	3月2日	3月6日	4月下旬	4月24日	5月上旬	4月26日
京都府	2月20日	2月26日	3月2日	3月6日	4月下旬	4月24日	5月上旬	4月26日
大阪府	2月18日	2月26日	2月27日	3月5日	4月下旬	4月24日	5月上旬	4月26日
兵庫県	2月17日	2月19日	2月27日	3月5日	4月下旬	4月24日	5月上旬	4月26日
奈良県	2月18日	2月26日	3月2日	3月5日	4月下旬	4月24日	5月上旬	4月26日
和歌山県	2月19日	2月21日	2月27日	2月29日	4月下旬	4月24日	5月上旬	4月26日
岡山県	2月19日	2月26日	2月28日	3月5日	4月下旬	4月24日	5月上旬	4月26日
広島県	2月18日	2月19日	2月27日	3月5日	4月下旬	4月24日	5月上旬	4月26日
鳥取県	2月21日	2月28日	2月27日	3月5日	4月下旬	4月24日	5月上旬	4月26日
島根県	2月19日	2月28日	2月27日	3月5日	4月下旬	4月24日	5月上旬	4月26日
山口県	2月16日	2月19日	2月18日	2月26日	4月下旬	4月20日	5月上旬	4月26日
香川県	2月17日	2月29日	2月20日	3月5日	4月下旬	4月24日	5月上旬	4月26日
徳島県	2月17日	2月17日	2月20日	2月26日	4月下旬	4月24日	5月上旬	4月26日
愛媛県	2月16日	2月17日	2月18日	2月26日	4月下旬	4月24日	5月上旬	4月26日
高知県	2月18日	2月21日	2月26日	2月28日	4月下旬	4月24日	5月上旬	4月26日
福岡県	2月16日	2月14日	2月18日	2月26日	4月下旬	4月20日	4月下旬	4月25日
佐賀県	2月16日	2月16日	2月18日	2月28日	4月下旬	4月20日	4月下旬	4月25日
長崎県	2月3日	2月13日	2月18日	2月29日	4月下旬	4月20日	4月下旬	4月25日
大分県	1月30日	2月14日	2月18日	2月29日	4月下旬	4月20日	4月下旬	4月25日
熊本県	2月16日	2月18日	2月18日	2月28日	4月下旬	4月20日	4月下旬	4月25日
宮崎県	2月6日	2月10日	2月17日	2月29日	4月下旬	4月20日	4月下旬	4月25日
鹿児島県	2月16日	2月10日	2月18日	2月29日	4月下旬	4月20日	4月下旬	4月25日

◆都道府県別の花粉飛散量

都道府県	花粉シーズン開始日～3/20の飛散数		花粉シーズン開始日～終了日の総飛散数			
	今シーズン (個)	昨シーズン (個)	今シーズン 予想(個)	昨シーズン (個)	昨シーズン 比 予想(倍)	平年比 予想(倍)
北海道 (シラカバ)	-	-	3700	1442	2.57	1.28
青森県	374	747	6000	3521	1.70	1.29
岩手県	738	725	6400	1944	3.29	1.27
秋田県	307	646	4600	3667	1.25	1.28
宮城県	1028	514	4700	1407	3.34	0.91
山形県	515	229	4300	1668	2.58	1.12
福島県	1883	882	6450	2692	2.40	0.91
茨城県	2967	1525	5950	4152	1.43	0.70
栃木県	2580	770	5200	2569	2.02	0.69
群馬県	2941	1771	6000	4939	1.21	0.67
埼玉県	2551	596	5100	1929	2.64	0.63
千葉県	2309	1101	4600	2641	1.74	0.85
東京都	2158	633	4300	1788	2.40	0.67
神奈川県	2294	866	4600	2489	1.85	0.75
山梨県	1899	355	5500	1306	4.21	0.74
長野県	1369	470	6000	2043	2.94	0.91
新潟県	668	358	4000	1211	3.30	0.98
富山県	1380	355	4000	917	4.36	0.90
石川県	1248	641	4100	1728	2.37	0.96
福井県	1194	878	4200	1982	2.12	0.91
静岡県	2275	260	5700	1064	5.36	0.91
愛知県	1576	1082	5000	3334	1.50	0.91
岐阜県	1344	511	5300	1780	2.98	0.91
三重県	1560	415	5000	1162	4.30	0.97
滋賀県	862	267	3800	704	5.40	0.91
京都府	741	164	3800	678	5.60	0.92
大阪府	1135	344	3800	1027	3.70	0.94
兵庫県	1048	317	4000	1229	3.25	1.02
奈良県	975	160	5050	596	8.47	0.91
和歌山県	863	218	3300	738	4.47	0.98
岡山県	1224	403	4000	1627	2.46	1.06
広島県	1108	473	4000	2640	1.52	1.03
鳥取県	570	153	2850	827	3.45	0.91
島根県	680	215	3000	706	4.25	0.92
山口県	1546	386	4000	1108	3.61	1.11
徳島県	1383	436	3640	1213	3.00	1.00
香川県	1166	168	3100	770	4.03	0.90
愛媛県	1271	336	3180	1074	2.96	0.99
高知県	1316	338	3400	842	4.04	1.00
福岡県	1571	656	3930	1578	2.49	1.14
佐賀県	1429	401	3570	1061	3.36	1.36
長崎県	2546	265	5700	655	8.70	1.80
大分県	1785	125	4700	492	9.55	1.11
熊本県	1763	260	4400	812	5.42	1.40
宮崎県	2018	449	5050	1141	4.43	1.32
鹿児島県	1407	280	3750	622	6.03	1.10